

# 令和7年度第1回 アドバイザリー・ボード 議事録

日時 令和7(2025)年7月30日(水) 15時~16時30分

場所 14号館5階第5会議室またはオンライン

出席者：千代田邦夫（オンライン）、山浦久司、窪田真（旧ボード）、吉田一平（新ボード）、稲岡政弘（新ボード）、倉崎好太郎、成宮哲也、大塚成男（司会）

陪席者：岡村忠生、佐藤信彦、宮崎裕士、山本健人

※以上、敬称略

## 議題

### 1. カリキュラムについて

司会より、WE コースのカリキュラム再編（科目統合、必修科目・選択科目のペアリングなど）を行った旨の説明があった。また、論文指導に関する課題についても説明があった。

カリキュラムについて、以下の意見・質問が出た。

- カリキュラムを再編する場合、選択と集中が重要である。
- オンデマンドで教材を配信する方法もあるのではないか。
- 公会計に関する科目が多すぎるので削減することもできるのではないか。一方で、監査の現場では、公会計・公監査のニーズが高まっているため、それを特色にする方法もあるのではないか。
- 段階的な科目配置を意識しすぎて、科目が過剰になっている可能性がある。シラバスを見たところ、内容が重複しているものも散見されるので統合しても良いのではないか。
- 最新の事例を講義で取り上げると教育効果が高いのではないか。
- 専門職大学院としての要件を満たすという制約はあるが、必修科目が多すぎると、学生にとって魅力が落ちるのではないか。

論文指導について、以下の意見・質問が出た。

- 会計大学院の中で熊本学園大学は成功事例だと思われる。
- 学位論文審査基準レベルの論文品質を保てるよう論文を執筆させることが長期的にはブランド力になると思われる。

2. 授業評価結果について

司会より授業評価結果について説明があり、以下のような意見・質問が出た。

- 未回答が多い点は気になる。
- 各設問の内容が不明ななか、集計結果について記述されているため読みにくい。集計結果の説明において設問内容がわかるような形式へ変更できないか。

3. 成績データ集計結果について

司会より、成績データ集計結果について説明があり、以下の意見・質問が出た。

- 標準修業年限が2年というのはタイトではないか。
- 関東では公認会計士や税理士が学び直しの場合として会計大学院に入学している。

4. その他

研究科長より、現在募集期間となっている「企業法」の教員募集について説明があった。

以上